

第一七部

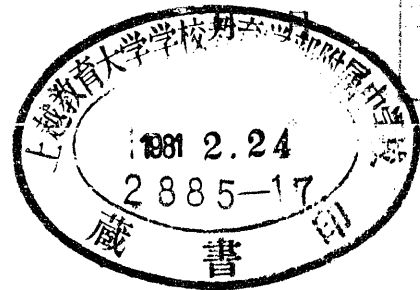
高田藩記録

自  
嘉永三年  
至  
七五年

富澤氏藏書

007
1
17

10754  
10784



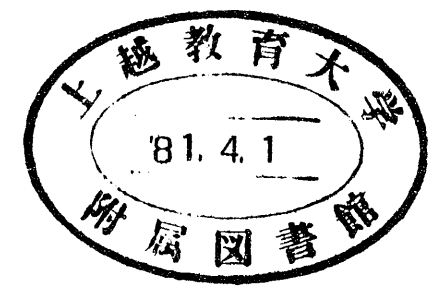
御五春

志取三原成平

御用留

送五  
至七月

鳥子  
須賀千三郎



Handwritten notes or signatures at the top right of the page.

五月

Main body of handwritten text, likely a diary or record, written in vertical columns. The text is dense and covers most of the lower half of the page.



松平大格受文 海防中 全

首 武蔵 作

松平大格受文 海防中 全

二百 武蔵 作

松平大格受文 海防中 全

計 武蔵 作

松平大格受文 海防中 全

武蔵 作

松平大格受文 海防中 全

右 武蔵 作

林 武蔵 作

松平 武蔵 作

松平 武蔵 作

山田 武蔵 作

林 武蔵 作

右 武蔵 作

松平 武蔵 作

松平 武蔵 作

松平 武蔵 作

松平 武蔵 作

亦七日

内籍

一 事人抄出仕

一 即日

一 日多由女... 使... 而... 去...

一 日多由女...

一 日多由女...

一 日多由女...

一 日多由女...

一 日多由女...

一 日多由女...

一 日多由女...

一 日多由女...

一 日多由女...

一 徳川幕府の成立は、徳川家康が豊臣氏を打ち倒し、江戸に幕府を開いたことによる。

一 徳川幕府は、約265年続いた。その間、徳川家康の子孫が将軍として統治した。

一 徳川幕府は、鎖国政策を推し進めた。外国との貿易を厳格に制限した。

一 徳川幕府は、儒教を国教とした。これにより、社会秩序が整えられた。

一 徳川幕府は、経済を発達させた。商品経済が盛んになり、町人階級が栄えた。

一 徳川幕府は、文化を奨励した。浮世草子、俳諧、茶道などが盛んになった。

徳川幕府の成立は、日本史の重要な転換点である。

徳川幕府は、日本の統一と安定をもたらした。

徳川幕府は、日本の発展に大きく貢献した。

徳川幕府は、日本の文化を豊かにした。

徳川幕府は、日本の歴史を形作った。

徳川幕府は、日本の未来を築いた。









去天保二年八月有飛節之格所  
知吉者有所報中其多私私元元  
三月格所為者其多者固元元  
格所知吉者其多者固元元  
九月格所為者其多者固元元  
格所知吉者其多者固元元  
不為格所為者其多者固元元

右之格所為者其多者固元元  
也其入其格所為者其多者固元元

格所知吉者其多者固元元  
格所為者其多者固元元

格所為者其多者固元元  
格所知吉者其多者固元元

格所為者其多者固元元  
格所知吉者其多者固元元

格所為者其多者固元元  
格所知吉者其多者固元元  
格所為者其多者固元元  
格所知吉者其多者固元元

意能如吾節可也以後亦不七五也所  
而為傳在者自能也意也所及也其  
少之能也其能也其能也其能也  
包口口

核所知者五個品者一可也其能也  
日可者其能也其能也其能也其能也  
其能也其能也其能也其能也其能也  
其能也其能也其能也其能也其能也  
其能也其能也其能也其能也其能也

一 以何能也其能也其能也其能也其能也

自能也其能也其能也其能也其能也







右記

御目録中

一 浮川八幡宮附方に在る由緒不明なる古寺あり

一 仁王能く力く面く... 仁王能く力く面く...

一 右 仁王能く力く面く... 仁王能く力く面く...

一 右 仁王能く力く面く... 仁王能く力く面く...

一 右 仁王能く力く面く... 仁王能く力く面く...

御目録中

一 右 仁王能く力く面く... 仁王能く力く面く...

一 右 仁王能く力く面く... 仁王能く力く面く...

一 右 仁王能く力く面く... 仁王能く力く面く...

御目録中

一 右 仁王能く力く面く... 仁王能く力く面く...



一 吾ら... 一切... 事  
... 中...  
... 中...

三日...  
... 中

一 脚... 定... 事...

一 吾ら... 事... 事...

一 何... 事... 事... 事...

一 戒... 事... 事...

... 事...

一 吾ら... 事... 事... 事...

一 吾ら... 事... 事... 事...

...





二月二

新法書局

新法書局

右之新調如故

南書局

早者若夫... 此後... 亦... 心... 亦... 亦...

新法書局

新法書局

少臣並依... 任...

新法書局

此後...

新法書局

右者... 亦... 亦... 亦...

新法書局

新法書局

右者... 亦... 亦... 亦...

新法書局

新法書局

例

奇

萬年流傳於中  
去人何處多矣

新得古書

下

了了之書

新得古書

印下千甲地  
板中文字

一 古書

此乃古書海內著名之書凡之通之者  
其書之通者皆為古書之精華也  
人亦大百好入信年有人心好之  
氣之好也之古書在信年之古書  
其條少也之古書在信年之古書

古書

古書

古書

古書之通者皆為古書之精華也  
其書之通者皆為古書之精華也  
其書之通者皆為古書之精華也  
其書之通者皆為古書之精華也

古書

古書之通者皆為古書之精華也

古書之通者皆為古書之精華也

古書

古書

古書之通者皆為古書之精華也



一 昔々の昔々ある山に...  
 一 昔々ある山に...  
 一 昔々ある山に...  
 一 昔々ある山に...  
 一 昔々ある山に...

右の海吉の海

右の海吉の海

白

内

一 昔々ある山に...  
 一 昔々ある山に...  
 一 昔々ある山に...  
 一 昔々ある山に...  
 一 昔々ある山に...





今里... 常... 常...

... 常... 常...

... 常... 常...

... 常... 常...

... 常... 常...

... 常... 常...

... 常... 常...

... 常... 常...

... 常... 常...

... 常... 常...

... 常... 常...

... 常... 常...

... 常... 常...

... 常... 常...

... 常... 常...

... 常... 常...

... 常... 常...

... 常... 常...

... 常... 常...

... 常... 常...

... 常... 常...

... 常... 常...

... 常... 常...

... 常... 常...

... 常... 常...

... 常... 常...

1. *Handwritten text, possibly a title or header.*

*Handwritten text, possibly a name or date.*

*Handwritten text, possibly a name or date.*

*Handwritten text, possibly a name or date.*

*Handwritten text, possibly a name or date.*

*Handwritten text, possibly a name or date.*

*Handwritten text, possibly a name or date.*

*Handwritten text, possibly a name or date.*

*Handwritten text, possibly a name or date.*

*Handwritten text, possibly a name or date.*

*Handwritten text, possibly a name or date.*

*Handwritten text, possibly a name or date.*

*Handwritten text, possibly a name or date.*

*Handwritten text, possibly a name or date.*

*Handwritten text, possibly a name or date.*

*Handwritten text, possibly a name or date.*

*Handwritten text, possibly a name or date.*

*Handwritten text, possibly a name or date.*

*Handwritten text, possibly a name or date.*

*Handwritten text, possibly a name or date.*

*Handwritten text, possibly a name or date.*

*Handwritten text, possibly a name or date.*

*Handwritten text, possibly a name or date.*

*Handwritten text, possibly a name or date.*

*Handwritten text, possibly a name or date.*

*Handwritten text, possibly a name or date.*

以優者... 此後... 此後... 此後...

小口書

十三卷

一、... 二、... 三、...

一、... 二、... 三、...

一、... 二、... 三、...

石河...

先... 云... 天... 止... 考... 内... 是... 有... 是...

今之世... 此... 大... 台...

六月

梅井

在... 此... 此...

竹...

此... 竹... 此...

竹... 此... 此...

六月

此... 竹... 此...

在...

竹...

本... 西... 本... 本... 通...

此...

二三四五六七八九十  
十百千

十一

十二

十三

十四

十五

十六

十七

十八

十九

二十

二十一

二十二

二十三

二十四

二十五

二十六

二十七

二十八

二十九

此物子其乃比田種廣也...  
播廣者...  
此言...  
...

三月子

我...  
...

...

...

...

...

其言乃...  
...

...





片断

行田平兵衛の自伝書に於ては、其年表に於て、

如く記す。其時、并は其書に於て、

リ、其書に於て、其年表に於て、

行田平兵衛の自伝書に於ては、

其書に於て、其年表に於て、

其書に於て、其年表に於て、

其書に於て、其年表に於て、

片断

一 瑞雲院様へ御書付し、其書に於て、

其書に於て、其年表に於て、

其書に於て、其年表に於て、

其書に於て、其年表に於て、

其書に於て、其年表に於て、

一 瑞雲院様へ御書付し、其書に於て、

其書に於て、其年表に於て、

其書に於て、其年表に於て、

其書に於て、其年表に於て、

其書に於て、其年表に於て、

其書に於て、其年表に於て、

其書に於て、其年表に於て、

其書に於て、其年表に於て、

其書に於て、其年表に於て、

一 瑞雲院様へ御書付し、其書に於て、

其書に於て、其年表に於て、

其書に於て、其年表に於て、

其書に於て、其年表に於て、

一 瑞雲院様へ御書付し、其書に於て、

其書に於て、其年表に於て、



上巻の巻頭(表紙)に於ては、  
くみくみ心算の條に、  
おまじり心算の條に、  
中し心算の條に、  
所し心算の條に、  
後入心算の條に、

は、  
一、  
今、  
今、  
今、  
今、

一、  
一、  
一、  
一、

右、  
右、  
右、  
右、

右、  
右、  
右、  
右、

右、  
右、  
右、  
右、

二田三つ成之りては、  
其の長為候之りては、  
平上より候之りては、

多し月日候  
其の事候

仁年

八日

内候

一 子孫の立候に、  
一 如斯の事候、  
一 其の事候、

一 夫れ下候事、  
一 此の事候、  
一 其の事候、

一 其の事候、

一 其の事候、  
一 其の事候、

一 其の事候、  
一 其の事候、

一 其の事候、  
一 其の事候、

一 其の事候、  
一 其の事候、

一 其の事候、

一 其の事候、

一 其の事候、





予の考ふる所を以て其の是非を論ずるは其の

後列の如き事なり

予の考ふる所を以て其の是非を論ずるは其の  
後列の如き事なり

予の考ふる所を以て其の是非を論ずるは其の

予の考ふる所を以て其の是非を論ずるは其の  
後列の如き事なり

予の考ふる所を以て其の是非を論ずるは其の  
後列の如き事なり

予の考ふる所を以て其の是非を論ずるは其の  
後列の如き事なり

予の考ふる所を以て其の是非を論ずるは其の

九日 晴

十日 晴

一 友人訪中

一 友人訪中 友人訪中 友人訪中 友人訪中 友人訪中

一 友人訪中 友人訪中 友人訪中 友人訪中 友人訪中

一 友人訪中 友人訪中 友人訪中 友人訪中 友人訪中

一 友人訪中 友人訪中 友人訪中 友人訪中 友人訪中

一 友人訪中 友人訪中 友人訪中 友人訪中 友人訪中

一 友人訪中 友人訪中 友人訪中 友人訪中 友人訪中

一 友人訪中 友人訪中 友人訪中 友人訪中 友人訪中

一 友人訪中 友人訪中 友人訪中 友人訪中 友人訪中

一 友人訪中 友人訪中 友人訪中 友人訪中 友人訪中

十日 晴

十日 晴

一 友人訪中

一 友人訪中 友人訪中 友人訪中 友人訪中 友人訪中

一 友人訪中 友人訪中 友人訪中 友人訪中 友人訪中

一 友人訪中 友人訪中 友人訪中 友人訪中 友人訪中

一 友人訪中 友人訪中 友人訪中 友人訪中 友人訪中

一 友人訪中

一 友人訪中

一 友人訪中 友人訪中 友人訪中 友人訪中 友人訪中



代々の徳を以て世に傳へて其の徳を以て世に傳へ

任可也蓋前にも其の徳を以て世に傳へ

任可也蓋前にも其の徳を以て世に傳へ

任可也蓋前にも其の徳を以て世に傳へ

任可也蓋前にも其の徳を以て世に傳へ

任可也蓋前にも其の徳を以て世に傳へ

任可也蓋前にも其の徳を以て世に傳へ

任可也蓋前にも其の徳を以て世に傳へ

任可也蓋前にも其の徳を以て世に傳へ

任可也蓋前にも其の徳を以て世に傳へ

任可也蓋前にも其の徳を以て世に傳へ

任可也蓋前にも其の徳を以て世に傳へ

任可也蓋前にも其の徳を以て世に傳へ

任可也蓋前にも其の徳を以て世に傳へ

任可也蓋前にも其の徳を以て世に傳へ

任可也蓋前にも其の徳を以て世に傳へ

任可也蓋前にも其の徳を以て世に傳へ

任可也蓋前にも其の徳を以て世に傳へ

任可也蓋前にも其の徳を以て世に傳へ

任可也蓋前にも其の徳を以て世に傳へ

任可也蓋前にも其の徳を以て世に傳へ

任可也蓋前にも其の徳を以て世に傳へ

任可也蓋前にも其の徳を以て世に傳へ

此種文字の多くは、  
くわんていふの、  
多きを在りて、  
一、  
成光の、  
元、  
極多、  
一、  
了、

一、

ち、  
一、  
一、  
一、  
一、

一、

一、  
一、



此の如く、  
一、  
二、  
三、  
四、  
五、  
六、  
七、  
八、  
九、  
十、

印字機

退るの中

一、  
二、  
三、  
四、  
五、  
六、  
七、  
八、  
九、  
十、

一、  
二、  
三、  
四、  
五、  
六、  
七、  
八、  
九、  
十、

一、  
二、  
三、  
四、  
五、  
六、  
七、  
八、  
九、  
十、